



平成26年11月22日

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 第一部 報告会と質疑応答
 - ・ 前年の質問や要望の対応
 - ・ 余川地区の事業概要
 - ・ 質疑応答
- 5 第二部 井戸端会議
- 6 閉会

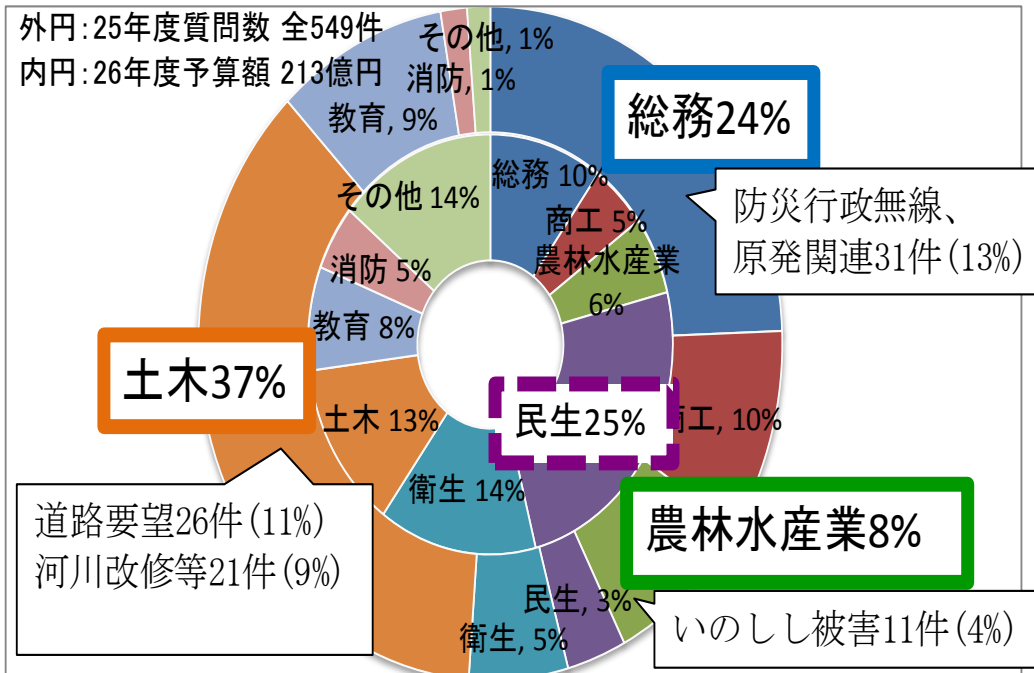
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
企画振興部長	高橋 正明	総合政策課 観光・マーケティング・おもてなしブランド課 市民参加と協働・防災のデザイン課 漁業交流施設整備推進室 商工・定住・都市のデザイン課 海浜植物園・花みどり推進室
防災・危機管理監	濱井 博文	自然災害や原子力災害対応
市民部長	山口 優	福祉介護課 子育て支援課 市民課 健康課 病院事業管理室 環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 能越自動車道対策室 上下水道課 農林畜産課 いのしし等対策課 水産振興課
地域担当職員	福嶋 明宏	所属 市民課
地域担当職員	小林 真理子	所属 税務課

第一部 報告会と質疑応答

平成25年度ふれあいトークのご意見と平成26年度予算の割合比較

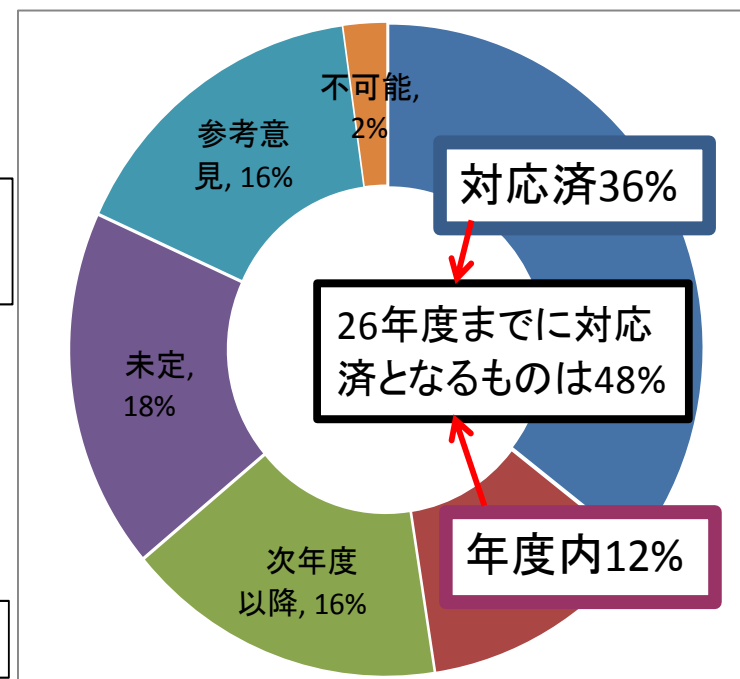
	質問数(件)	質問割合	予算額(億円)	予算割合
総務	134	24%	21.82	10%
商工	54	10%	11.07	5%
農林水産業	45	8%	13.49	6%
民生	18	3%	52.40	25%
衛生	30	5%	30.11	14%
土木	201	37%	27.11	13%
教育	52	9%	16.23	8%
消防	8	1%	10.08	5%
その他	7	1%	30.71	14%
	549	100%	213.02	100%



ご意見の対応可能性と対応時期

	質問数(件)	質問割合
可能	449	88%
対応済	195	36%
年度内	66	12%
次年度以降	90	16%
未定	98	18%
参考意見	88	16%
不可能	12	2%
	549	100%

※質問数には会場アンケートの件数も含んでいます



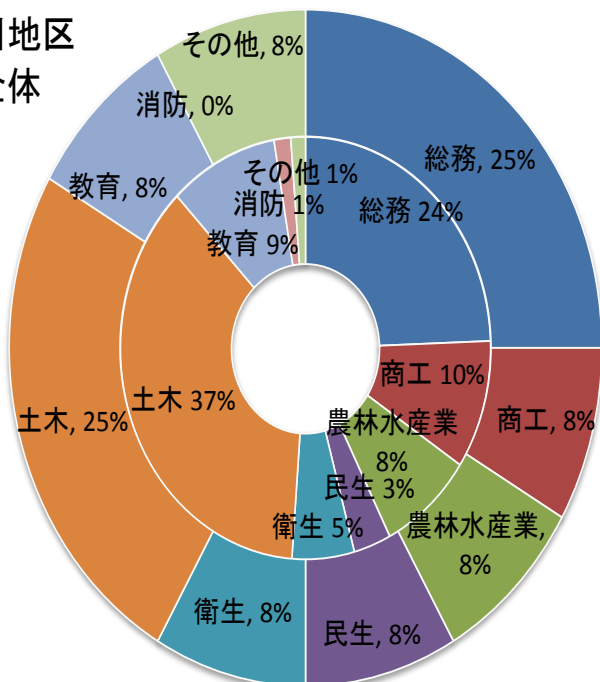
余川地区と市全体の項目別ご意見の割合比較

	地 区	割 合	全体計	割 合
総務	3	25%	134	24%
商工	1	8%	54	10%
農林水産業	1	8%	45	8%
民生	1	8%	18	3%
衛生	1	8%	30	5%
土木	3	25%	201	37%
教育	1	8%	52	9%
消防	0	0%	8	1%
その他	1	8%	7	1%
	12	100%	549	100%

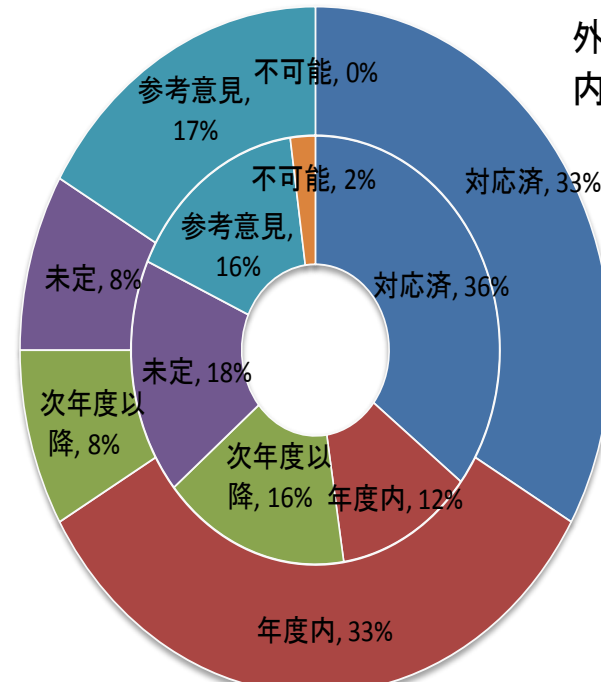
余川地区と市全体の対応時期の割合比較

	地 区	割 合	全体計	割 合
可能	10	83%	449	82%
対応済	4	33%	195	36%
年度内	4	33%	66	12%
次年度以降	1	8%	90	16%
未定	1	8%	98	18%
参考意見	2	17%	88	16%
不可能	0	0%	12	2%
	12	100%	549	100%

外円:余川地区
内円:市全体



外円:余川地区
内円:市全体



対応済

1093-原発事故の防災対応（継続）
1094-防災無線の有効利用
1100-スクールバスの定期点検
2024-古戸橋の欄干が腐食

26年度内

1095-公共施設跡地の整備計画
1096-スーパー農道の草刈り
1097-農免道路のトンネルが暗い
1098-イノシシ対策と被害補償

可能

27年度以降

1101-空き家の管理

未定

1102-割り箸の回収

参考意見

1099-ふれあいランチの送迎

1103-道の駅が国道沿いにならない

[次へ](#)

平成26年10月実施 工事費 663万円



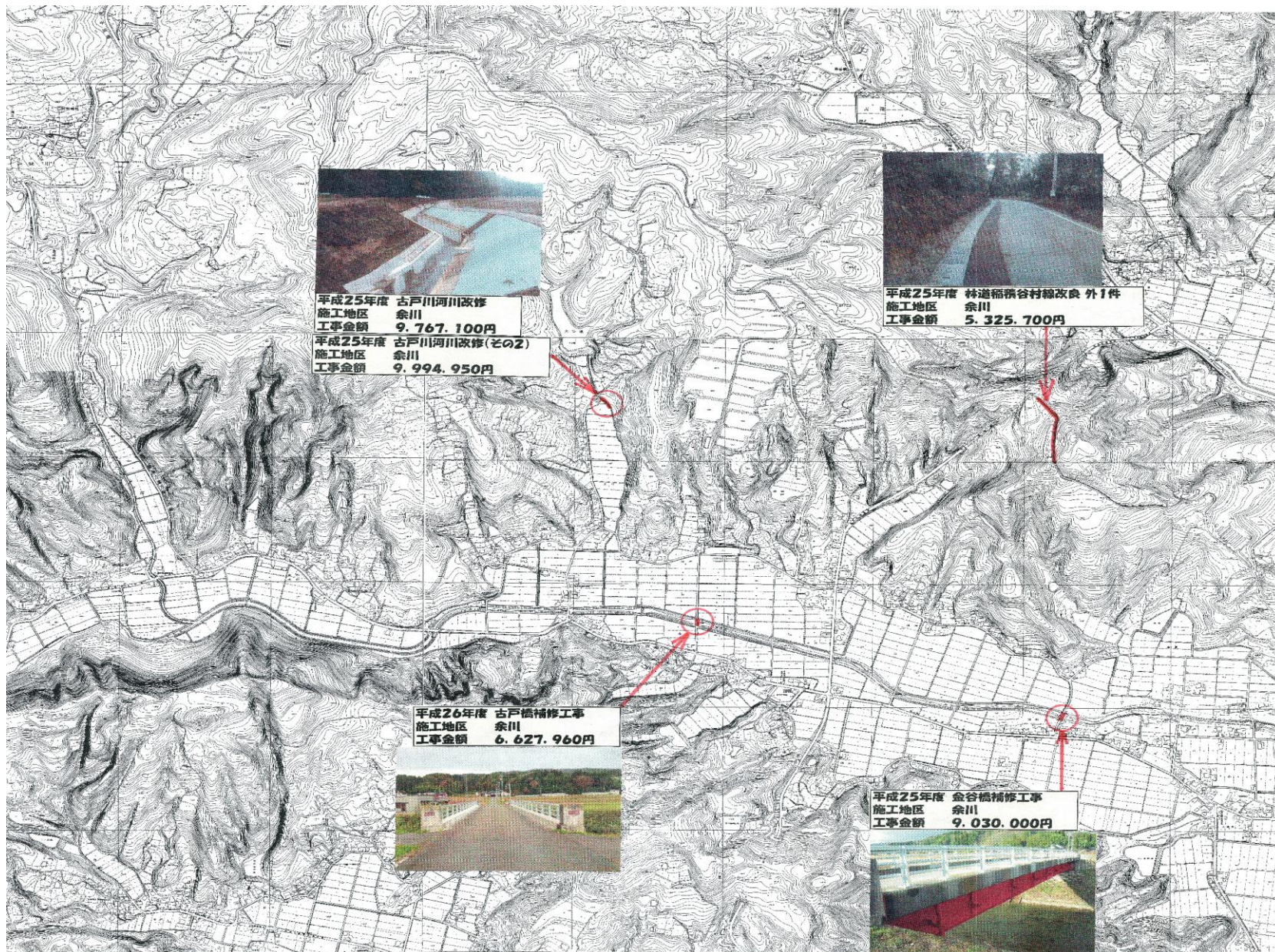
草刈り（百々谷トンネル～京地橋）
平成26年6月、9月実施
水路工事 今年度実施予定で現在設計中



区画線引き 平成26年12月完了予定
工事費13万円



余川地区の事業概要



工事等実施箇所

実施 年度	工 事 名	工事 (業務場所)	契約日	完成(予定)日	最終契約金額
H25	古戸川河川改修工事	余川	H25.5.17	H25.9.30	9,767,100
H25	金谷橋補修工事	余川	H25.9.25	H26.1.9	9,030,000
H25	古戸川河川改修(その2)工事	余川	H25.10.16	H26.3.13	9,994,950
H25	林道稲積谷村線(その2)改良工事	稲積・余川	H26.1.20	H26.5.7	7,192,800
				H25計	35,984,850
H26	谷村配水場ポンプ取替修繕	余川	H26.5.1	H26.7.31	1,036,800
H26	古戸橋補修工事	余川	H26.7.17	H26.10.31	6,627,960
				H26計	7,664,760

その他の事業

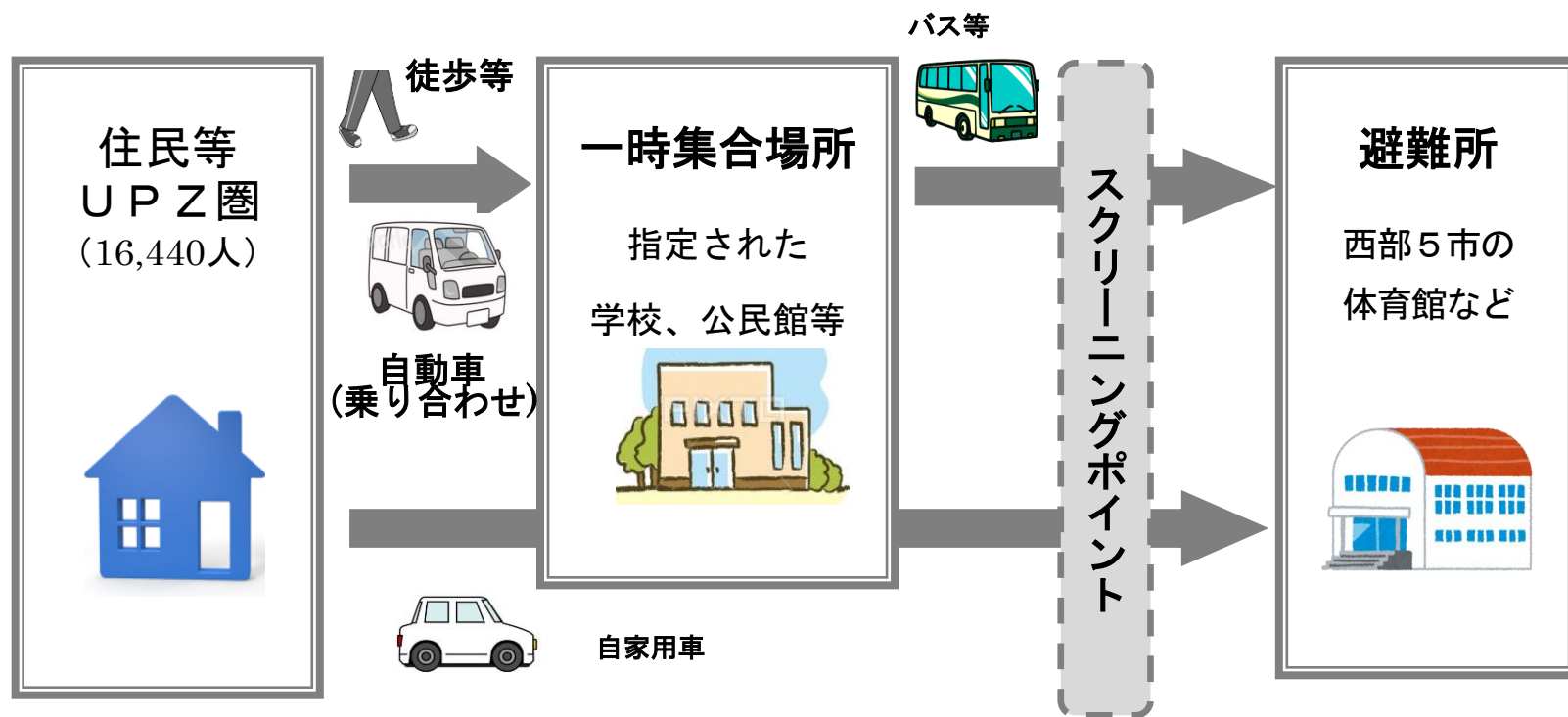
実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額	担当課	備考
H25	花と緑の地域づくり事業費	平成25年度花壇造成等補助金 (余川地区緑花推進協議会)	200,000	都市計画課	
H25	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵(2段張) 余川 L=1,700m	181,369	農林課	
		H25計	381,369		
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等貸与	電気柵 余川 L=580m	37,120	いのしし等対策課	
H26	有害鳥獣対策用の電気柵等設置補助金	電気柵 余川 7件	328,000	いのしし等対策課	
		H26計	365,120		

質疑応答

① 原発事故問題について

原発事故発生時における避難ルート、避難場所等の避難行程について

住民避難のイメージ



余川地区の避難経路・避難先

一時集合場所

余川公民館

安定ヨウ素剤備蓄・服用

基本避難ルート

能越自動車道

スクリーニングポイント

今後決定

避難所

福野体育館 (南砺市寺家321-1)



説明会での質問内容と市の考え方

- **安定ヨウ素剤を公民館で配るのも難しいし、車約250台が止まりきるのか**
- ⇒ 一時集合場所では、避難者の確認や安定ヨウ素剤の配布を想定しており、一時集合場所を経由していただきたいと考えております。
- しかしながら、一時集合場所の経路にこだわることによって迅速な避難ができなくなることは避けなければならないと考えており、例えば、安定ヨウ素剤の配布がスムーズに実施できるような配布方法を検討、あるいは、自家用車による避難について、一時集合場所を経由せずに避難できる方法などについて検討してまいります。
- **避難に際しては、国の指示待ちではなく、市独自の基準を持ち、判断すべき**
- ⇒ 避難については、国からの指示が原則とされていますが、EAL、OILに定めた基準以外に、市が独自の判断基準を設けることについては、様々な緊急事態を想定した場合の備えとして検討すべき課題であると考えております。
- **放射性物質放出前の段階的対応について、1段階早い対応が必要（警戒事態を緊急事態の対応へ繰り上げるべきでは？）**
- ⇒ 現在の放射性物質放出前の対応（EAL）は、警戒事態において一時集合場所の開設準備をし、施設敷地緊急事態において一時集合場所の開設という段階になっております。現実的には、震度6弱以上の地震が発生している場合は、一時集合場所の準備が出来次第、開設することになると思われますが、段階の分類上、施設敷地緊急事態に分類させていただいております。

- **・安定ヨウ素剤は一時集合場所での配布で全員に行き渡るのか。各家庭に配ったほうがよくないか？**
- ⇒ 国の原子力災害対策指針では、UPZ圏内は、原則緊急時の配布とされています。
- 氷見市としてもこの方針に従い、事前配布はせず、一時集合場所での配布としておりますが、今後、孤立の可能性等地区の状況に応じて対応していきたいと考えております。
- **・スクリーニングポイントの場所はどこになるのか**
- ⇒ 30kmのUPZ圏の少し外側で考えています。
- **・要配慮者の避難先の早期選定**
- ⇒ 現在、関係機関で協議いただいているところであります。
- **・スクリーニングポイントには相当数の人数が集結することになるが、駐車場は大丈夫か？検査に時間がかかるのではないか？**
- ⇒ スクリーニングポイントには、一時集合場所以上の多数の住民が集結することから、車の誘導、検査人員の確保、迅速な検査の実施に課題が多いと認識しておりますが、効率的なスクリーニングの実施や従事人員の確保についても検討してまいります。
- **・モニタリングを海側にも増設**
- ⇒ 市内には、現在4箇所にモニタリングポスト(ステーション)が設置されています。増設については、今後、県と協議してまいります。

※ 上記のほか、説明会でいただいたご質問の概要と質問に対する市の考え方につきましては、市のホームページに掲載してありますのでご確認ください。

現状課題と今後の対策案の有無

- ・〔課題〕

- 本計画は、複合災害を想定したものではないこと

- 安定ヨウ素剤の服用について、医師の立会いが原則となっているなど、迅速な避難との兼ね合いが難しいこと

- スクリーニングポイントでは、検査に時間を要する上に多数の住民が集中すること

- 要配慮者の避難

- 30km圏外の取扱いなど国の指針が示されていない部分もあること

などがありますが、

今後、必要に応じて避難計画等を改定して住民の皆さんに啓発していきたいと考えております。

一時集合場所別避難経路・避難先一覧(参考)

一時集合場所	行政区	人数	基本避難ルート	避難先
灘浦中学校	中田、中波、脇	774	国道160号	大門高校
	小境、大境、姿	558		小杉総合体育センター
	小計	1,332		
灘浦小学校	宇波、脇方	828	国道160号	小杉総合体育センター
	白川、戸津宮、大窪	422	能越自動車道	富山県西部体育センター
	長坂、平沢、吉岡、平	221		福野体育館
	小計	1,471		
海峰小学校	阿尾、指崎	1,366	国道160号	小杉高校
	北八代、藪田	611		新湊高校
	小杉、泊	482		小杉体育センター
	森寺、吉滝	456		富山県産業創造センター
	小計	2,915		
余川公民館	余川	912	能越自動車道	福野体育館
基石公民館	懸札、寺尾、一芻、吉懸、味川、上余川	790	能越自動車道	福野体育館
北部中学校	加納、稲積	1,358	能越自動車道	富山県西部体育センター

一時集合場所別避難経路・避難先一覧(参考)

一時集合場所	行政区	人数	基本避難ルート	避難先
八代自治会館	磯辺、針木、角間、小滝、国見、胡桃	387	市道北八代堀田線	富山県産業創造センター
十二町小学校	上田	321	市道北八代堀田線	竹平記念体育館
	大野、中尾	1,123		ふくおか総合文化センター
	小計	1,444		
上庄小学校	泉、柿谷、七分一、中村	1,779	市道北八代堀田線	ふくおか総合文化センター
	谷屋	434		高岡市民体育館
	小計	2,213		
明和小学校	論田、熊無	760	市道北八代堀田線	高岡市民体育館
西部中学校	新保	206	県道高岡・氷見線	富山県産業創造センター
	小窪、田江	318		竹平記念体育館
	小計	524		
速川小学校	三尾、日詰、早借、小久米、日名田	1,088	県道高岡・氷見線	竹平記念体育館
	床鍋、葛葉	81		東部公民館
久目小学校	触坂、久目	695	県道高岡・氷見線	富山県産業創造センター
赤毛コミュニティセンター	見内、老谷、岩瀬、棚懸	470	県道高岡・羽咋線	東部小学校
	小計	551		

⑦ 避難場所（旧余川小学校） としての機能について

- ・避難場所において毛布や飲料水等、生命維持のための最低限の災害グッズの常備の可否
- ・救援物資の早急な提供

現在、毛布や飲料水等の備蓄物資については、氷見市ふれあいスポーツセンター及び旧上余川小学校において備蓄しており、避難所の開設に至ったときには、職員を派遣した上で、必要物資を調達することとしていますが、被災時に必要不可欠な最低限の食料、生活必需品については、個人で備蓄しておくことが基本である旨啓発していくことも重要であると認識しております。

分散備蓄については、備蓄品の保管スペースや管理上の課題等ありますが、迅速な防災備蓄品の提供の観点から、今後検討してまいります。

市では、物資が不足する場合に備え、近隣自治体、姉妹都市のほか、民間事業者とも物資の提供について協定を締結しています。

地籍調査完了区域と未完了区域



凡 例	
	事業実施計画区域
	認証済区域
	調査実施済区域
	計画区コード
	実施年度
	土改区域（精度高）
	土改区域（精度低）
	公園区域
	三角点

★氷見市の現状

昭和47年から地籍調査事業
に着手

平成25年度末の現状は、

◆調査対象面積 219.87km²

◆調査済み面積 97.57km²

◆進捗率 44.38%（全国
51%、県28%）

★余川地区の現状

(1) 柿谷調査区（余川の一部含む）（調査：昭和56年度～58年度）【登記：未
完了】

(2) 余川Ⅰ調査区（調査：昭和57年度）【登記：昭和59年度】

(3) 余川Ⅱ調査区（調査：昭和58年度～59年度）【登記：昭和61年度】

※未完了区域 小字（目谷、大石、曲、南山、百谷、田代）の一部

氷見市の人口（空き家）対策

空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方を対象に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介。空き家活用を支援。

セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入しリフォームされた方に費用の1/2補助（上限50万円）

定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた方に家賃の1/2補助（月上限2万円・2年間）

田舎暮らし体験ゲストハウス

市内の移住を考えている方を対象にした、有料宿泊生活体験施設（最高6泊まで可）

まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助（購入者1㎡につき2千円・上限20万円）（売却者1㎡につき1千円・上限10万円）

住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税を2年間交付（上限50万円）（ただし対象者要件あり）

山間部の過疎地における人口対策(空き家問題)

空き家情報バンクでは、近年、**山間部の農作業のできる家の希望が多く**、思い当たる物件があれば、ぜひご紹介ください！

若い人をはじめ、定年を迎えた人まで、幅広いニーズがあり、**移住者を呼び込むチャンス**と考えています。

モデル地域を参考とした、人口対策の立案

空き家対策特別措置法が成立したことにより、今後本市においても、同法に対応した条例づくりについて検討してまいりたいと考えております。

農業従事者（若年層）確保対策について

①青年就農給付金（準備型）

- ・ 農業経営者育成教育機関、先進農家、先進農業法人で研修を受ける、原則 4 5 歳未満で就農する人に対し、研修期間中に

⇒ 年間 1 5 0 万円を最長 2 年間給付

②青年就農給付金（経営開始型）

- ・ 人・農地プランに位置づけられている原則 4 5 歳未満の認定新規就農者等について

⇒ 年間 1 5 0 万円を最長 5 年間給付

③法人正職員としての就農

- ・ 法人に就職した青年に対する研修経費として

⇒ 年間 1 2 0 万円を助成（最長 2 年間）

農業従事者に対する支援の強化について

○農業機械等購入に対する支援の要件としては、

⇒「**人・農地プラン**」に位置づけられている中心経営体である
規模拡大や多角経営を目指す認定農業者や集落営農組織

認定農業者とは、

4 ha 以上を耕作しており、「農業経営改善計画」を策定し、認定委員会において認定を受けた農業者

集落営農組織とは、

- | | |
|--------------------|---------------|
| ①農用地の利用集積目標を定めること | ②規約を作成すること |
| ③共同販売経理を行うこと | ④法人化計画を作成すること |
| ⑤主たる従事者の所得目標を定めること | 以上の要件を備えている組織 |

耕作放棄地防止対策について

多面的機能支払

(活動組織 63 集落)

中山間地域等直接支払

(協定集落 41 集落)



地域資源を維持管理



農村の地域活動や営農の継続等を支援



耕作放棄地を防止

耕作放棄地対策事業として

みどりの農地再生利用事業・美しい農村景観整備事業がある。

第 2 部 井戸端会議

テーマごとのグループに分かれ、
地区課題を話し合います。

1 班、	2 班	地域の活性化
3 班		空き家対策
4 班、	5 班	イノシシ対策
6 班、	7 班	高齢者社会の対応